

内視鏡検査時の鎮静剤投与に関する説明および同意書

内視鏡検査時には個人差がありますが苦痛や不安感を伴います。当院では検査時の苦痛や不安を少なくする目的で、ご希望の方には鎮静処置を行っております。

鎮静の効果には個人差が大きく、「ぼーっ」としたり完全に眠ってしまうこともあります。

検査終了後は眠気が残り、足元がふらつくといったことがありますので体がしっくりするまで横になり、1時間ほど休憩してからお帰り頂きます。その後も眠気が残り判断力が低下することがあります。

検査当日は、ご自分で運転（自動車、バイク、自転車）はおやめ下さい。また危険を伴う作業もおやめ下さい。

検査中に鎮静剤を使用することで合併症、偶発症（起こることは少ないが本来起こって欲しくない患者様に不利益となること）が起こる危険性があります。最新2010年発表の消化器内視鏡学会の全国調査によれば鎮静剤投与による偶発症発生率は0.0013%（8万分の1）死亡率0.000024%（400万分の1）と報告されています。安全のために末梢静脈ルート確保（点滴）をして、血中酸素濃度等のモニターを行います。

鎮静剤投与の偶発症（合併症・副作用）としては

注射部位の炎症、静脈炎、血管痛、アレルギー、血圧低下、不整脈、呼吸抑制、低酸素血症、覚醒遅延（目が覚めない）、健忘（検査中、検査後の記憶がなくなる）などの可能性があります。失禁の可能性もありますので用便は済ませて下さい。その他、予想外の偶発症が起こる可能性もあります。

万が一偶発症が生じた場合には最善の処置を行います。入院・点滴薬剤投与・酸素投与・気管内挿管・蘇生処置等が考えられます。

偶発症によって生じた医療費も患者様の負担となります。

検査共同利用専用診療情報提供書に同封して、患者さんにお渡してください。

(検査時、鎮静剤使用希望のある場合のみ記入)

同意書

患者 _____ は、鎮静剤投与に関する説明を読み、納得したうえで
内視鏡時の鎮静剤投与を受けることに同意します。

検査当日、ご自分で運転（自動車、バイク、自転車）する患者様は希望されても
鎮静剤処置は行えません。

医療機関名： _____

説明医師の署名： _____

同席者の署名： _____

年 月 日

患者の署名： _____

保護者／代理人の署名： _____

同席者の署名： _____

座間総合病院 院長殿